



辻川だより

第32号 [2014冬号] 平成26年12月6日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public_html/

11日 13:00 新「河次郎」現る



11日 13:10 奉納相撲に河童現る



12日 21:10 屋台に合羽



この度、神積寺開基一千年と秘仏ご本尊のご開帳が行われ、そのお手伝いをさせていただきます。

この神積寺は、慶芳上人が諸国巡錫の折、辻川の有井堂を一夜の宿にされたとき、文殊菩薩のお告げと守護を得、一条天皇の勅により正暦2年(991年)にこの地に建立され、薬師如来が本尊として祀られています。この薬師如来像は当山を開山した慶芳上人が自ら彫ったとされ、藤原時代の代表的な尊容を表していることから、明治34年に国の重要文化財に指定されていて、勅封の秘仏として60年に一度しか見ることが出来ない仏像です。その60年に一度のご開帳がこの度行われました。

12日 23:10 蔵入
最高の笑顔が輝く



福崎の文化財

区長 釜坂道弘



12日 8:55 大門・北野・加治谷と



11日 12:15 宵宮宮入(恵美酒社前)

協議員会は今

- 10・11月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。
- 来年度事業に関して各隣保・各種団体から提出された要望検討及び来年度事業計画と予算組みの準備
- 自治会関連費徴収準備。区内事業所の協力金等見直し
- 補助事業について(公民館の外部非常階段の塗装等)
- 秋祭りの役割
- 分担確認と準備
- の裏方不足検討
- 公民館電気工事(漏電の原因はパソコン照明)
- 自主防災訓練内容確認
- 今年度「自律立」のまちづくり交付金事業として「安心カプセル」等準備
- 11月、フワフワポットの植替え用に葉牡丹80株
- 町からの要請を受け、区主催の合格祈願祭検討(従来の中学PTA主催も含む)



11日 12:30 宵宮のゴミ分別

お知らせ

今年度第1回辻川界隈検討委員会(10月20日)から平成23～25年度の県の補助事業「地域の夢推進事業」が終了し、26年度からは県の「ふるさとづくり推進事業」の補助を受け、引き続き「銀の馬車道」沿道・周辺地域のまちなみ美化が推進されることになった。今年度の計画としては、

- ① 辻川山山頂に展望場(井ノ口方面展望)
- ② 「学問成就の道」

案内標識看板(顔出し看板も)設置等。

当面の予定

- 4月11日(日) 11時頃～合格祈願祭(辻川区主催)
- 1月18日(日) 13時30分～平成27年度辻川区総会
- 1月24日(土) 19時30分～新隣保長会議

祭礼行事のお知らせ

- 宮当番「十四隣保」より
- 1月1日～3日 正月祭り(鈴の森・高藤稲荷神社)
- 1月11日(日) 10時 冬えびす(鈴の森・恵美酒神社)
- 1戸あたり2000円の費銭をお願いいたします。
- 1月14日(水) 15時 どんど(鈴の森・高藤稲荷神社)

事業報告

隣保長・各種団体役員会議

- ① 秋祭り実行委員会構成・運行予定等説明。
- ② 来年度事業計画立案への隣保・各種団体からの要望は10月15日締切で提出を。
- ③ 環境担当から…空力と空じんは分別を、他所のゴミ袋使用禁止、清掃担当ノートは早めの回覧を
- ④ 今年度「自律立」のまちづくり交付金制度「対象事業の取り組み計画確認」
- ◆9月28日(日) 道普請
秋祭りに向けての区民総出の街路大掃除。今回初めて隣保長の皆さんに、雲津川の草抜きに加勢いただいた。

11日 17:40 乗子も担う
端・青年団が結束して祭りにあたった結果である。また、今年も青年団女子部及び「辻川」



に辻川界隈ボランティアグループが、23日には消防OB会が、27日には老人会が、鈴の森神社境内の清掃や周辺の下刈りに精を出してください。多くの地域住民のボランティアに感謝。

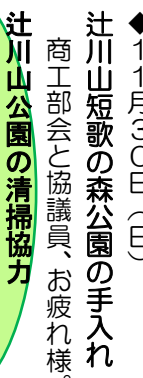
今年度は田尻屋台が新調、井ノ口が「東山」屋台を大改装した。平成二年の西光寺、三年の中島、四年の吉田、五年の大門(大改装)と最近「新調」が相次ぐが、田原地区での新調先駆けが平成四年の辻川屋台であり、今、その歴史をつないでいることに胸を張りたい。さて、今年の秋祭りを少し振り返ってみよう。今年も身長による棒割の徹底が奏功した。本宮宮入の20数分の粘り…前の屋台の停滞にも動じない見事な練りは圧巻であった。拝殿の観客の評価も辻川は高かった。木方の陣頭指揮のもと棒



12日 14:15 塞神社前で差す

12日(日) 秋祭り
「イス」が各休憩所での後片付けや、して棒をかざしての屋台の露払いに活躍した。練り子自身による休憩所の後片付けもさらに改善したように感じた。声援や拍手を送ってください。皆様感謝したい。

辻川山短歌の森公園の手入れ
商工部会と協議員、お疲れ様
10/25、穏やかな陽気の下、第2ブロックを中心に辻川区から19名の参加があった。御苦勞様。



◆11月16日(日) 自主防災訓練
今年度2回目の訓練として防災士による講義と心肺蘇生法及びAEDの使用講習が実施された。これは辻川分団が今年度防火啓発推進事業分団に指定されていることによるものである。参加者は20余名(内一般参加は2名だけであった。残念)。併せて消火器の販売と詰め替えも行われた。



11日 8:00 堰溝治いを蔵出

なお、本宮で辻川区の休憩場所に用意してあった飲み物の案内が不徹底であったことをお詫びしたい。一声あげる気配りが地域をつくる。また、翌13日には有志による辻の片づけが行われていることも付記しておく。

協議員としての任期を終えて

内藤政義 10年間、有り難く感謝しながら卒業を迎えました。辻川区の益々の発展と素晴らしい町づくり、人づくり、文化づくりに、今後を期待しています。皆様のご健康とご活躍心より念じています。

川端一郎 毎年の行事優先から、本来の「企画立案・推進・実行・振り返り」の道筋づくりが必要だと思います。

松岡博子 思いも掛けず協議員に推されて、元氣だけが取り得の私が皆様の協力のお陰で6年間を過ごすことが出来ました。今後は一区民として辻川区の発展を願っています。有難うございました。

鈴木健文 区の更なる活性化、発展、円滑な運営に向けて、新たな知恵と意識、行動力が必要だと思います。今後は新しい方に委ねたいと思います。ご協力有難うございました。

井上良宣 二期四年を終えて、自分の無力さを感じています。文化を担当する中で、界隈展については開催時期や内容を検討する時期が来ているように思いました。界隈展に限らず、辻川区の諸問題を新しいメンバーで解決する環境が出来ればと考えています。有難うございました。

桑原賢治 協議員として何も無い一年目が過ぎ、何も出来なかった二年目が過ぎ、先輩協議員の厚意に甘えた二年間でした。唯、辻川区の行事に少しでも興味を抱いている自分を見つけたことに価値がありました。感謝

植田弘造 振り返る中途中半端な事しか出来なかった二年間でした。協議員というのは二足の草鞋を履くことは難しいことだと思えます。役員改選ではそついった点もよく考えて投票をお願いします。

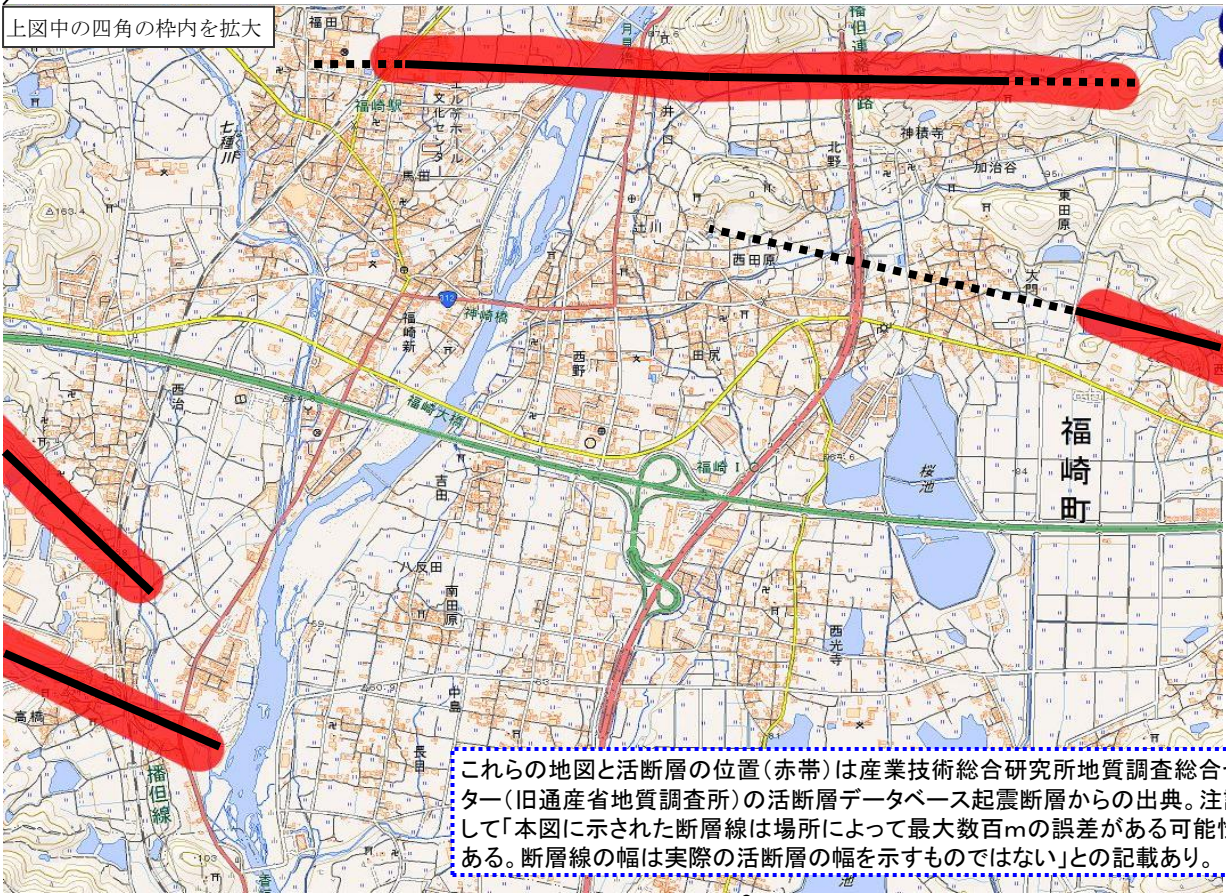
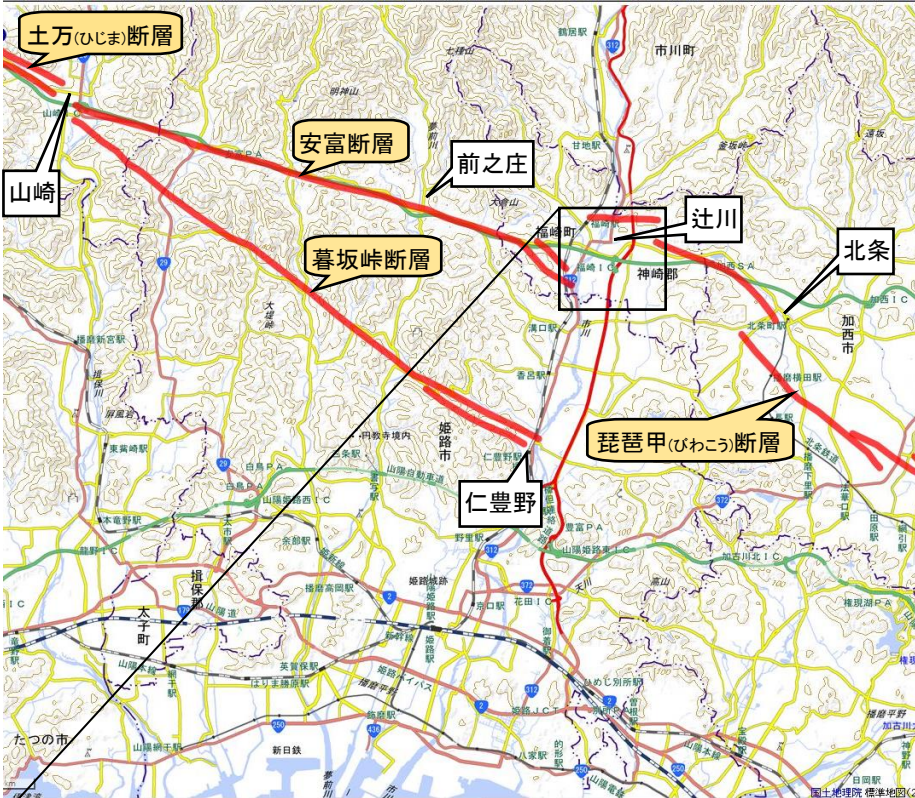
前田亮平 初めて協議員をさせてもらい、辻川区の運営は皆さんの協力が不可欠である事、自分が何も知らなかった事を痛感した2年間で、勉強になりました。

中村武嗣 二年間の任期を何程の事も出来ないまま終わりました。これからは若い人に頑張ってもらい、辻川がさらに良くなることを願います。お世話になりました。

田崎正和 いつも年頭の総会を欠席し心苦しいスタートですが、皆様には温かく見守っていただき感謝しています。ボランティア活動に興味関心のある方、ぜひ手を挙げて！

災害に備える7

地震対策 ① 山崎断層はやっぱり、



福崎町は山崎断層系の部分断層である琵琶甲断層と安富断層上に位置します。そのため、数十万年前からの断層運動によって大地が破碎され東西の谷地形ができ、南北方向には市川が谷を刻み氾濫原を広げてきました。これらの自然の営みの上に「辻」がつけられ町が発展してきました。今、私たち福崎の住民が最も懸念するのが、この山崎断層系の地震と数十年のうちに確実に起こるとされる南海トラフ巨大地震(南海・東南海・東海地震が連動)です。これらの地震についてはすでに「辻川だより」154号で特集してきましたので(手元がない方はホームページ参照)

今号では山崎断層系が福崎町のどこを通るのか、(国)地質調査総合センターが公開している現段階でのデータを紹介します(左図の赤帯、破線は推定)。ただし、この図は左下にも注記したように誤差を含んでいること、実際は町中心部に広がる市川の氾濫原堆積物の下に何本も枝分かれして存在してい

る可能性が高い(地下では1本の主断層が地表付近で枝分かれしていることがよくある)ことを付け加えておきます。また、活断層の位置を明らかにすることは資産価値の問題にもつながりますので、公表されているデータとはいえ取扱いにはお互いに注意しましょう。とはいえ、活断層上が最も危険という訳ではありません。

先の阪神淡路大震災の際に、地表に現れた野島断層上に建つ民家のブロック塀が、断層の動きのままに上下にずれてはいましたが倒壊せず立っていました。建物被害の要因としては、地盤の特性(埋立地や地下水位の高い砂地盤、山麓部のひな壇状の造成地、地震波が集まる地下構造など)、建物の構造(柱や壁が少ない、重い瓦屋根)や使い方(2階に重い荷物)や老朽化などがあげられます。辻川の主な地盤は、こぶし大の円礫からなる氾濫原(段丘)堆積物ですから比較的安全です。建物については耐震診断をし、耐震工事をすることが何よりですが、次号以降では家庭でできる家具の転倒防止対策や非常持出品の準備、安否確認方法のポイント等をまとめます。

編集後記

この夏、東日本大震災の被災地を、福島県の浪江町から海岸線を北上し宮城県石巻市まで駆け足で巡ってきました。海岸線はどこも防波堤の建設と宅用地のかさ上げ工事が同時進行の様相でした。津波にさらわれた旧の町並みは家の基礎のみを残し夏草が一面に生い茂っていました。地主さんの好意で続けてきた復興商店街の中には立ち退きの期限が迫ってきているところもあるようです。「生きていく人は絶対に命を粗末に扱ってはいけない」：家族を亡くし、多くの借金を抱え、先行きの見えない中で懸命に明るくふるまわれている姿に頭が下がり、逆に元気をもらった旅になりました。(田崎)